

先生へのインタビューコーナー

嵯峨先生に聞いてみた



Q:担当の科目は何ですか？
 A:からだの構造と機能
 1年生前期・後期と2年生前期解剖学実習 以上がここの講義です。

Q:教員歴は何年ですか？

A:29年です。来年30年になります。1994年にここに入りました。看護学科に来てからは、4年になります。教育が自分がしたかったことなので、趣味と仕事と一緒にです！

Q:休日どのように過ごされていますか？

A:日によって違いますが、解剖学実習のレポート添削が一番時間をかけています(笑)。天気が良ければ自宅の畑仕事をしています。さつまいも、じゃがいも、トマト、きゅうりを育てています。後は本を読んだり、テレビを見ている。学校に医療系の本を置いているので家には医療系以外のものを置いています。1万冊くらい置いてあると思います。

Q:モーニングルーティンがありますか？

A:コーヒーを飲みながら、朝のニュース番組の録画をさかのぼりながら見ます(笑)。朝起きるのが遅いので、ちょっと時間ないですけど(笑)。ニュース見ながら、大きな事件事故がないか新聞をパラパラとみます。新聞を読んだら、お風呂に入って、だいたい9時半に学校につくようになります。

Q:好きな臓器を教えてください！

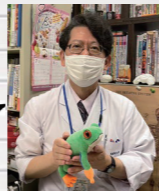
A:もう、一つしかないですよ(笑)。脳下垂体です。学生の時から下垂体の研究をして、両生類の脳下垂体を使って、研究しました。高校の時からずっと研究したのは、カエルですね(笑)。だから、授業でも内分泌は盛り沢山になっています。ホルモンは大事ですよ。寝るのも、食べるのも、全部ホルモンが関係していますからね！

Q:ストレス対処法は？

A:基本的にストレスはありません。畑もするけど畑ばかりでもないし自宅でコンピューターを使ったり、レポートを見たり音楽を流しながら、やっています。飽きてくると本を読んだり…最近よくしているのは、粘土細工や3Dプリンターのデータを作っています。

Q:先生はカエル好きとお聞きしましたが、一番好きなカエルグッズはありますか？

A:去年の卒業生からいただいたカエルがお気に入りです！



Q:次の先生を指名していただきたいです！

A:次をお願いしたいのは、昨年1年生の副担任をご一緒いただいた永田先生です。

Q:みんなに一言お願いします！

A:みんな勉強してね。楽しく学んでほしい。ちゃんと食べて、寝て、興味を持って、学んでください。

編集後記

皆さん今回ののはなみずきはいかがだったでしょうか？今回から企画やレイアウト、構成、編集などのすべてを先生方と相談しながら、学生が主体的に行うことになりました。そのため、今まではなみずきとは少し違うように感じた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。読んでくださる方々が、今回ののはなみずきを通してよりパワーアップしたと思っていただけるために、看護学科の魅力はどう伝えたらいいか委員全員で悩みました。一から作成したことで大変なことだけでなく、私たちが改めて看護学科の魅力に気づくことができました。また、2023年5月より新型コロナウイルス感染症が5類となり、災害レベルが下がりました。そのため、今までできていなかった授業や演習ができるようになり、より看護の奥深さを実感しています。マスク着用も個人の自由となり、看護学科全体が以前より笑顔と元気で溢れているように感じています。この数年間はただ苦しかっただけでなく、看護学生として制限があったからこそ学べたこともたくさんありました。これからも、看護学科の魅力を発信していくとともに、みなさんが見たいと思う学科通信 はなみずきを作成できるよう、委員一同努力してまいります。

2023年度 学科通信委員

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1年生 下川 芹有 | 2年生 阿部 美咲 | 3年生 江上 由桂 | 4年生 及川 千穂 |
| 谷川 真生 | 大谷 莉未 | 金森 雅央 | 小濱 千尋 |
| 中尾 雛乃 | 呉 采暲 | 平松 結愛 | 佐々木 七海 |

募集中!



はなみずき 企画大募集!

はなみずきに取り上げてもらいたい企画はありませんか？
 思いついた方は各学年のはなみずき委員に教えてください！
 楽しくて面白い、はなみずきをみなさんも一緒に作っていきましょう！

「学科通信委員はなみずき」って??

年に2回発行される学科通信です。
 企画を通して学科の魅力の紹介をしています。
 久留米大学医学部看護学科の学科通信と一緒に盛り上げませんか？1年生と3年生の時に2年間委員になってくれる学生を募集します！学科の広報活動に興味がある方、データ編集が得意な方など自分の特技を生かしてみませんか？

看護学科通信

はなみずき 第62号

久留米大学医学部看護学科



インド・ミテイラー地方の民族画「スーリヤムッキーの木」

＜新任紹介＞



- 後列左から：基礎医学 松本 准教授
 在宅看護学 松野 助手
 母性看護学 竹藤 助教
 前列左から：基礎看護学 恒松 准教授
 成人看護学 崎浜 教授

＜先生方からのメッセージ＞

4年生担任 加悦 美恵

3年からの持ち上がり担任になりました。補佐の松島亜希子先生とともに卒業まで温かくサポートしていきます。クラスの目標は、学位取得・国試合格・進路決定、そして、心身ともに健やかで豊かな1年間にし、周囲へ感謝しながら社会人として巣立つ！です。目標達成に向け、まずは講義室6を大いに活用してください。ご家族、周囲の皆さまには引き続きあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

3年生担任 椛 勇三郎

学生の皆さんは、講義では覚えることが多いため、ついつい試験に出そうところだけを効率よく学習して、理解が中途半端になっていませんか。すぐには役に立たないような知識も将来思いがけない形で役に立つ時が来ます。皆さんが学んでいる知識や日々の経験の1つ1つには意味があり、その積み重ねによって、多様な考え方が持てるようになり、全体を俯瞰する思考が養われ、物事の本質を見抜く力につながるのだと思います。大学でよき友人を見つけ、互いに切磋琢磨して自分の可能性を拓ける努力をしてほしいと思います。

2年生担任 古村 美津代

2年生となり、大学生活を謳歌しつつ、自分自身の目標に向かって努力する姿が見受けられます。前期は、解剖学実習による人体の臓器や組織、症候学(自覚症状や徴候)等とともに看護の基本である人間関係論やフィジカルアセスメント技術等、多くの科目を履修しました。12月には、医療施設において2週間の実習が開始となります。自分の目指す看護師像に向けて更に成長してもらいたいと思います。

＜2023年度 新入生＞



<2023年 看護学科の様子>

4月

入学式を迎えて

1年 R・Y

私は入学式前日全く眠れませんでした。自分の夢の看護師の道に近づくことが嬉しい反面、授業についていけるのか、友人はできるのかなど、不安もあったからです。当日は先生方、共に学んでいく仲間たちと初対面し、より一層ここで看護を学ぼうと心に決めました。久留米大学の建学の精神である「国手の矜持は常に仁なり」という言葉には、思いやりを持つことは看護師にとって大切であるという意味を含みます。これから様々なことに直面していくと思いますが、入学時の決意とこの言葉^①を忘れずに多くの困難を乗り越えていきたいです。

6月

総合実習を終えて

4年 H・B

私は消化器内科病棟で実習しました。カンファレンスでは終末期の疼痛コントロールについて話し合いました。「生命」「死」について病棟の看護師も悩むような個人の倫理観や看護観を問われるとても難しい議題でした。4年間学んだ事や感じてきた事を軸に自分の看護観についてメンバーや指導者さん、先生と意見を共有できました。これから看護師になる身として、4年間で培った看護観を大切にし、自分が持っている最大限の力を発揮できるように努力していきたいと思っています。

7月

赤ちゃん先生を通して

3年 K・N

「赤ちゃん先生」を通して、様々な年齢の赤ちゃん・お母さんと交流をしながら、オムツ交換や身体測定を体験しました。新型コロナウイルス感染拡大により3年振りの対面開催でもあり、貴重な体験でした。発達状況やお母さんの出産前後の生活の変化など、普段の授業では学ぶ事の出来ない事柄も沢山あり、充実した時間でした。また、看護学生としての役割について、学びを深める機会になりました。9月からの実習において、実際に赤ちゃんと接する上で、今回の学びを踏まえて勉学に励みたいと思います。

8月

部活動紹介 バスケットボール

2年 A・K

男子バスケット部は月・水・金の週3回の活動です。プレイヤー30名、マネージャー17名が所属しています。練習中はとても真剣ですが、普段はフレンドリーな方々ばかりです。また、マネージャーとプレイヤーの仲も良く、明るく活気のある部活です。今年度は西医体も開催され練習の成果を出す機会があり、今後の活躍を楽しみにしていきましょう。

4月から9月までの出来事をまとめてみました!

他にも、様々な行事や演習・講義があります。

みんなで楽しく学んでいます!!

久留米餅を体験してみよ 1年 A・H

「久留米大学の理念と歴史」の授業で久留米餅について学びました。講義では久留米餅の歴史や藍の特徴を学び、工房での生葉染め体験では、緑から藍の青色に変化する様子を見て藍の魅力を感じました。機織り体験では糸の印や織る順番などに注意する点が多く難しく感じました。久留米餅の伝統や文化は色あせることなく、新しい美しさを生み出し続けると感じました。今後も地域の様々な伝統や文化を知り、大切にしたいです。

災害看護の演習について 2年 Y・K

災害時の「排泄」の支援を演習しました。生理的欲求である排泄は命のリスクに繋がるため、水資源が使えない状態では不衛生になりやすく、排泄物により感染症の温床になりかねません。仮設トイレ設置までの過程で、簡易トイレは被災者にとっての救いになると考えました。各グループが持ち寄ったアイデアは様々な形態であり、どれも羞恥心、衛生面に配慮されていました。最も大切なことは被災者が安心して生活できる支援、環境整備が優先すべき課題であると理解することができました。

解剖学実習を終えて 2年 M・A

解剖学実習は非常に興味深く、教科書だけでは到底学ぶことができない知識を深める良い機会でした。実際にご献体に触れることで、教科書では得られない体の内部構造やご献体の方の病気について理解することができました。しかし、観察したとき分からないことが多かったことも事実で、一年時の勉強不足を実感しました。これからの学習では、解剖学実習で学んだ貴重な知識を活かしていきたいと思っています。

実習に向けて 3年 A・K

1・2年次の実習は、新型コロナウイルス感染拡大により短期間でしたが、その中でも看護の実際と自身の未熟さを痛感しました。3年次の約半年間の実習では、変化する状況に適応する為に自己学習を怠らず、常に学ぶ姿勢で真摯に向き合いたいと思います。そして、看護学生という立場であっても、実習の場では医療チームの一員である事を踏まえ、実践した看護に責任を持ち、患者のニーズを捉えたより良い看護の提供を目指します。

1年生の志望動機

私が本学を志望した理由は、癌教育の体制に魅力を感じたからです。私は以前から看護学の中で特に「がん看護学」に関心があり、基礎から高度技術まで詳しく学びたいと考えていました。本学では、癌治療の先端研究が行われており、より上質な教育を受けることができると感じました。また、本学の講義に加えてがんに関する地域医療機関との連携を深めている隣接の大学病院で多くの実践経験を積むことで、知見を広げたいと考えました。



久留米大学の志望理由は、高い教育水準と実践的なカリキュラムに惹かれたからです。また、地域と連携した実習機会や病院との連携により、実際の医療現場での経験を豊富に積むことができると考えました。このような環境で学ぶことで、将来のキャリアにおいて一層の自信を持ち、医療のプロフェッショナルとして活躍したいと考えたため志望しました。

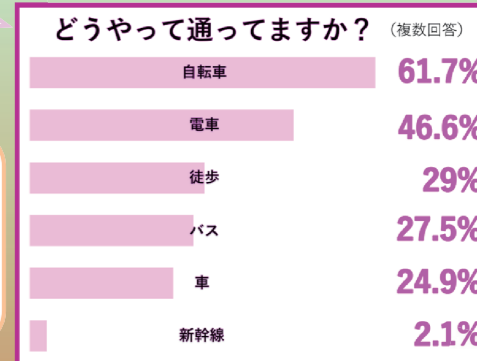
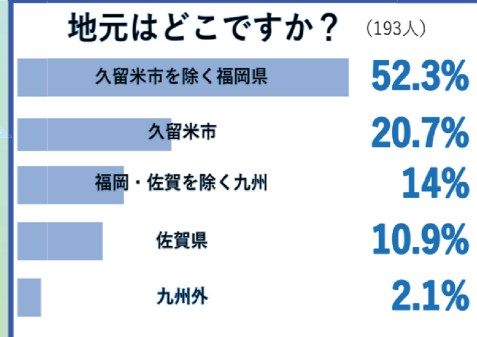
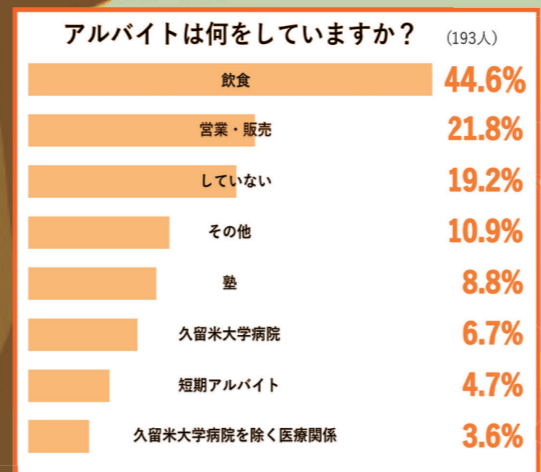
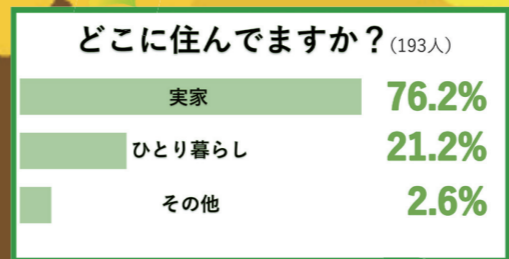
4年生の看護師像

私は、確かな知識と技術を備えるとともに、どんな時でも患者様の心に寄り添いながら看護を実践できる看護師になりたいと思います。入院されている患者様は、身体面のみならず、心の面でも不安や苦痛などを抱えて療養されていることを実際に実習を通して実感しました。看護師は患者様にとって最も身近な存在であるからこそ、1番傍に立って患者様の安全と安心を守ることが大切であると思います。そのため、確かな知識と技術を身に付け、確実に安全な看護を実践するとともに、常に患者様の視点に立ち、患者様にとっての最善を考えて看護を行う姿勢を大切にしたいと思います。そして、心身両面から患者様を支えることのできる看護師になりたいと思います。



4年間でここまで成長することができました!
久米大学だからこそ、得られたことも多かったな~
1年生はこれから!
4年生は新たな場所で頑張っていこう!

<アンケートコーナー>



久留米市以外から来ている人が多いな~

遠くから通っている学生もいるんだ~!

公共交通機関の掛け持ちも多そうだね!

飲食が多いね!! 久留米でバイトしている人が多いのかな~? それとも地元かな~?



アンケートのご協力ありがとうございました。今回は皆さんの身近なことに関するアンケートを行いました。一人暮らしやアルバイトに悩んでいた方の参考になれば嬉しいです! ちなみに... 4年生のはなみずき委員は3人中2人が一人暮らしです! 一人暮らしの実習中は料理が一番大変でした。実家暮らしの学生は福岡市から通っていて、朝早く家を出ることが大変でした。